



# Cisco HyperFlex Systems のカスタマイズされたインストール方法

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [事前設定されていない Cisco HyperFlex システムのインストールおよび設定のワークフロー \(1 ページ\)](#)
- [VMware ESXi のインストール \(2 ページ\)](#)

## 概要

この章では、インストール手順に移る前に手動で HyperFlex サーバを準備するプロセスについて説明します。このカスタマイズされたインストール方法を、次のシナリオで使用することができます。

- HyperFlex クラスタにコンピューティング専用ノードを追加する。
- Cisco HyperFlex システムの再展開。

実行するタスクは、事前設定された HyperFlex Systems を展開する場合と基本的に同じです。事前設定されていないシステムに固有の新しいタスクは、VMware ESXi のインストールです。

## 事前設定されていない Cisco HyperFlex システムのインストールおよび設定のワークフロー

### 始める前に

Cisco HyperFlex System のインストールと設定の要件を確認します。詳細については、「インストールの前提条件」を参照してください。

**ステップ 1** vCenter でクラスタを削除することにより、既存の環境をクリーンアップします。Cisco UCS で、vCenter MOB エントリ、UCS Manager サービス プロファイル、および VLAN を削除します。

**ステップ 2** 「ソフトウェアのダウンロード」から **Cisco HyperFlex Data Platform インストーラ OVA** ファイルをダウンロードします。

例：

Cisco-HX-Data-Platform-Installer-v2.5.1b-26284.ova

**ステップ 3** HX Data Platform のインストーラを起動してサインインします。

- a) [カスタマイズされたワークフロー (Customized Workflow)] を選択します。
- b) [UCS Manager 設定の実行 (Run UCS Manager configuration)] を選択して、UCS サービス プロファイルを設定します。『Cisco HyperFlex Systems Installation Guide for VMware ESXi』の「Configuring Cisco UCS Manager and HX Data Platform」のセクションに記載されている手順に従います。

**ステップ 4** vMedia を使用して、新規の ESXi インストールを実行します。

- (注) 自動 IP アドレス割り当てに Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) を使用することは推奨されません。デフォルトでは、HX Data Platform Installer によって、ESXi サーバーに静的 IP アドレスが割り当てられます。DHCP を使用する場合は、適切な VLAN を使用して ESXi でネットワークを手動で設定します。

**ステップ 5** HX Data Platform のインストーラを再び起動します。

- a) [カスタマイズされたワークフロー (Customized Workflow)] を選択します。
- b) [ESX 設定の実行 (Run ESX Configuration)]、[HX ソフトウェアの展開 (Deploy HX Software)]、および [HX クラスタの作成 (Create HX Cluster)] を選択します。

ウィザードで必ず [既存のパーティションの削除 (Delete Existing Partitions)] を選択してください。

## VMware ESXi のインストール

サーバーには、VMware ESXi のサポートされているバージョンが必要です。最適な HX スナップショットのパフォーマンスと機能を実現するには、ESXi 7.0 U2 以降をインストールすることを推奨します。サポートされる ESXi バージョンのリストについては、最新の『[Release notes for Cisco HX Data Platform](#)』を参照してください。



**重要** 各 HX サーバで ESXi をインストールします。

Cisco HyperFlex Data Platform の [ソフトウェアダウンロード](#) ページから VMware ESXi イメージをダウンロードします。Cisco UCS Manager を介してアクセス可能なネットワーク ロケーションを選択します。

HX カスタム ISO は、Cisco カスタム ESXi リリースに基づいています。

たとえば、

```
HX-Vmware-ESXi-60U2-4192238-Cisco-Custom-6.0.2.3.iso
```

。

### 次のタスク

- Cisco UCS Manager を通じた vMedia およびブート ポリシーの構成
- リモート KVM コンソールを開きます。
- サーバを再起動してインストールを開始します。
- Cisco UCS Manager を介して vMedia およびブート ポリシーの変更を元に戻します。

## Cisco UCS Manager での vMedia およびブート ポリシーの設定

Cisco UCS vMedia ポリシーとブート ポリシーを設定するには、次の手順を実行します。

### 始める前に

HX Data Platform インストーラにログインします。Cisco UCS Manager の設定に応じて、標準クラスタ用の [クラスタの作成 (Create Cluster)] ワークフローを実行します。



(注) サーバからサービス プロファイルの関連付けを解除する際に特定しやすくするために、*Temporary* という名前のクラスタを作成してください。

- ステップ 1 Cisco UCS Manager のナビゲーション ペインで [サーバ (Servers)] タブをクリックします。
- ステップ 2 [サーバ (Servers)] > [ポリシー (Policies)] > [ルート (root)] > [下位組織 (Sub-Organizations)] > [hx-cluster] > [vMedia ポリシー (vMedia Policies)] を展開します。
- ステップ 3 [vMedia ポリシー HyperFlex (vMedia Policy HyperFlex)] をクリックします。
- ステップ 4 設定ペインで、[vMedia マウントの作成 (Create vMedia Mount)] をクリックします。
- ステップ 5 マウントの名前を入力します (例: **ESX**)。
- ステップ 6 [CDD オプション (CDD option)] を選択します。
- ステップ 7 プロトコルとして [HTTP] を選択します。
- ステップ 8 [IP アドレス (IP Address)] に HyperFlex インストーラ VM の IP アドレスを入力します (例: **192.168.10.210**)。
- ステップ 9 [変数イメージ名 (Image Variable Name)] として [なし (None)] を選択します。

- ステップ 10 [Remote File (リモート ファイル) ]に **HX-Vmware-ESXi-6.0.0-3380124-Custom-Cisco-6.0.1.2.iso** と入力します。
- ステップ 11 [リモートパス (Remote Path) ]に **/images/** と入力します。
- ステップ 12 [変更の保存 (Save Changes) ]をクリックし、[OK] をクリックします。
- ステップ 13 設定ペインで、[サーバ (Servers) ]>[サービス プロファイル テンプレート (Service Profile Templates) ]>[ルート (root) ]>[サブ組織 (Sub-Organizations) ]>[hx-cluster] >[サービス テンプレート hx-nodes (Service Template hx-nodes) ]を選択します。
- ステップ 14 [vMedia Policy] タブをクリックします。
- ステップ 15 [vMedia ポリシーの変更 (Modify vMedia Policy) ]をクリックします。
- ステップ 16 ドロップダウン選択項目から [HyperFlex vMedia ポリシー (HyperFlex vMedia Policy) ]を選択して、[OK] を 2 回クリックします。
- ステップ 17 [サーバ (Servers) ]>[ポリシー (Policies) ]>[ルート (root) ]>[サブ組織 (Sub-Organizations) ]>[hx-cluster] > [Boot Policy HyperFlex] を選択します。
- ステップ 18 ナビゲーション ペインで、[CIMC マウント vMedia (CIMC Mounted vMedia) ] というセクションを展開します。
- ステップ 19 [CIMC マウント CD/DVD の追加 (Add CIMC Mounted CD/DVD) ] という名前のエントリをクリックします。
- ステップ 20 [ブート順序 (Boot Order) ] リストで [CIMC マウント CD/DVD (CIMC Mounted CD/DVD) ] エントリを選択し、[上へ (Move Up) ] ボタンを何度かクリックして [CIMC マウント CD/DVD (CIMC Mounted CD/DVD) ] エントリをリストの先頭に移動させます。
- ステップ 21 [変更の保存 (Save Changes) ] をクリックし、[OK] をクリックします。

### 次のタスク

サブ組織 *Temporary* を削除します。

## リモート KVM コンソールを開く

1 つ以上のサーバの進行状況をモニタするには、リモート KVM コンソールセッションを開いてインストール状況を監視することを推奨します。

KVM コンソールを開くには、以下の手順を実行します。

- ステップ 1 Cisco UCS Manager のナビゲーション ペインで [サーバ (Servers) ] をクリックします。
- ステップ 2 [サーバ (Servers)]>[サービス プロファイル (Service Profiles)]>[ルート (Root)]>[サブ組織 (Sub-Organizaitons)]>[HX クラスタ (hx-cluster)]>[ラック ユニット番号 (rack-unit-number)] の順に展開します。
- ステップ 3 [ワーク (Work) ] ペインで、[全般 (General) ] タブをクリックします。
- ステップ 4 [アクション (Actions) ] 領域で、[KVM コンソール (KVM Console) ] をクリックします。

- ステップ 5** セキュリティ アラートが表示される場合は [続行 (Continue)] をクリックします。しばらくしてリモート **KVM コンソール** ウィンドウが開き、サーバのローカル コンソール出力が表示されます。
- ステップ 6** インストール中に **KVM コンソール** をモニタする対象のサーバごとに、ステップ 2 ~ 4 をさらに繰り返します。

## サーバの再起動

vMedia ポリシー、ブート ポリシー、およびサービス プロファイル テンプレートを変更した後、インストールを開始するにはサーバを再起動します。

サーバを再起動するには、次の手順を実行します。

### 始める前に

サーバの再起動の進行状況をモニタリングするには、リモート KVM コンソールセッションを開きます。

- ステップ 1** Cisco UCS Manager のナビゲーション ペインで [サーバ (Servers)] をクリックします。
- ステップ 2** [機器 (Equipment)] > [ラック マウント (Rack Mounts)] > [サーバ (Servers)] を展開します。
- ステップ 3** [ワーク (Work)] ペインで、最初に再起動するサーバをクリックし、最後に再起動するサーバを **Shift** キーを押しながらクリックして、すべてのサーバを選択します。
- ステップ 4** マウスを右クリックして、[リセット (Reset)] をクリックします。
- ステップ 5** [OK] をクリックします。
- ステップ 6** [電源の再投入 (Power Cycle)] を選択し、[OK] をクリックします。

これにより、KVM コンソール ウィンドウでモニタしているサーバが即時に再起動し、リモート vMedia マウントから起動して Cisco カスタマイズ ESXi ISO をインストールします。エラー メッセージがある場合は、無視しても差し支えありません。

## VMedia とブート ポリシーの変更を元に戻す

サーバがブート ループに陥ってインストール用 ISO ファイルから起動し続けることを防ぐには、ブート ポリシーの変更を元に戻します。

### 始める前に

すべてのサーバがリモート vMedia ファイルからすでに起動し、インストールプロセスが開始済みであることを確認します。

- ステップ 1** Cisco UCS Manager のナビゲーション ペインで [サーバ (Servers)] をクリックします。

- ステップ 2 [サーバ (Servers) ]> [ポリシー (Policies) ]> [ルート (Root) ]> [サブ組織 (Sub-Organizaitons) ]> [hx-cluster\_name]> [ブート ポリシー (Boot Policies) ]> [ブート ポリシー HyperFlex (Boot Policy HyperFlex) ] を展開します。
- ステップ 3 [ワーク (Work) ] ペインで、[全般 (General) ] タブをクリックします。
- ステップ 4 [アクション (Actions) ] 領域で、**CIMC マウント CD/DVD** をクリックします。
- ステップ 5 [ブート順序 (Boot Order) ] リストから [CIMC マウント CD/DVD (CIMC Mounted CD/DVD) ] エントリを選択し、[削除 (Delete) ] をクリックします。
- ステップ 6 [変更の保存 (Save Changes) ] をクリックし、[OK] をクリックします。
- 

### 次のタスク

#### 新しいノード

過去にクラスタ内で使用したことがない新しいノードを追加する場合は、HX クラスタを拡張します。詳細については、「[Cisco HyperFlex System クラスタの拡張](#)」を参照してください。

#### 既存のノードの再インストール

このノードが過去にクラスタに含まれ、何かを修正するためにイメージを再作成した場合には、Cisco TAC に連絡して指示を受けてください。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。